

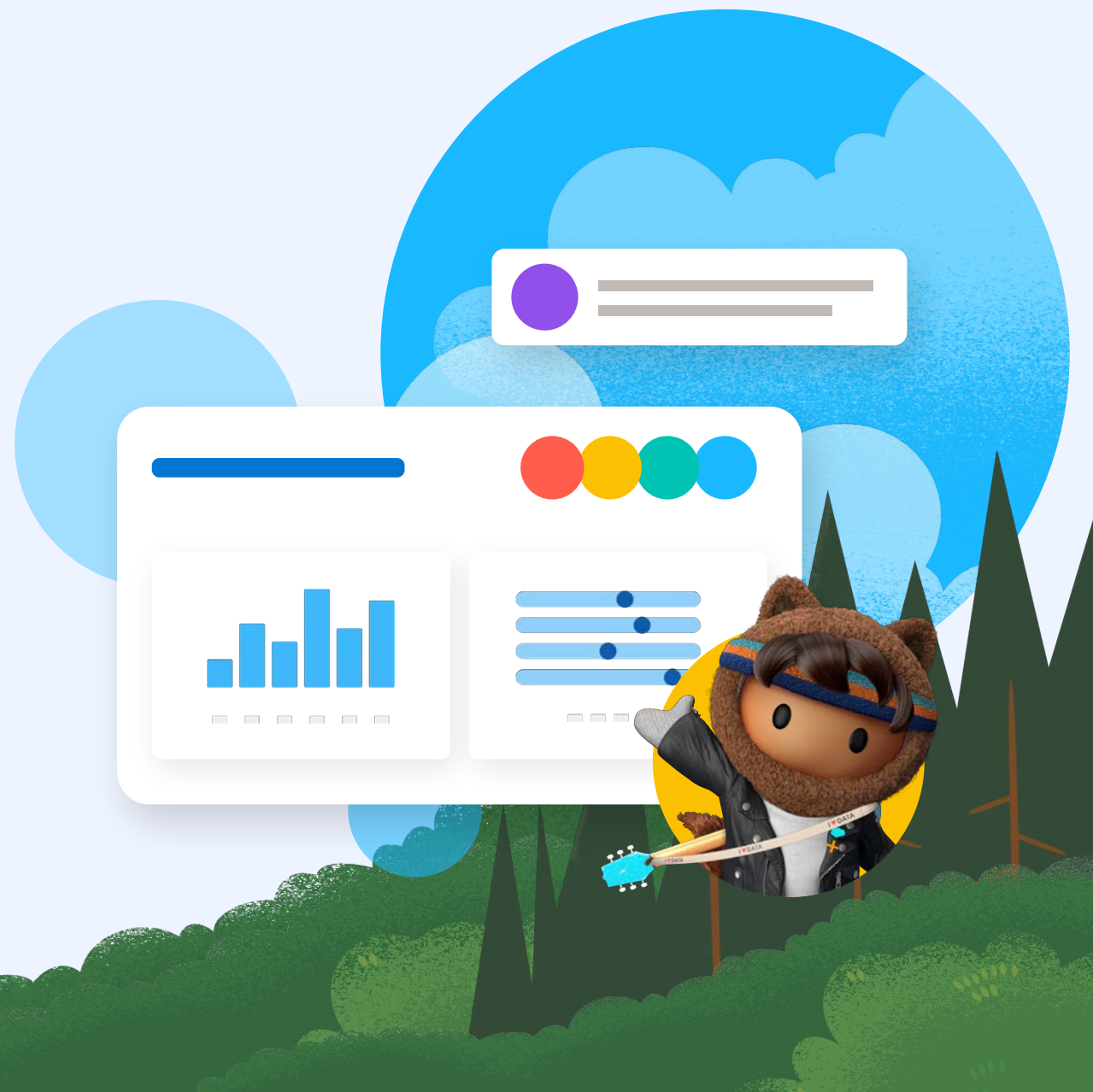


デジタル時代に必要とされる データスキルとデータリテラシー

株式会社セールスフォース・ジャパン
常務執行役員 Tableau事業統括
カントリーマネージャー

佐藤 豊

@fajoa | y.sato@salesforce.com



株式会社セールスフォース・ジャパンのご紹介



大企業から小規模事業者までCRMを中心にB2B/B2C業務クラウドサービスをご提供

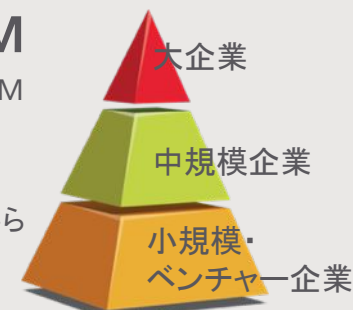
本社	Salesforce, Inc. 所在地：サンフランシスコ(他27カ国でビジネス展開)
創業	米国：1999年 日本：2000年
事業	クラウドによる業務アプリケーション・開発基盤
売上	264.9億ドル(2022年度)
従業員数	約72,000人(2022年度)
国内拠点	日本法人：株式会社セールスフォース・ジャパン 本社：Salesforce Tower Tokyo(丸の内)・大阪・名古屋・白浜 データセンター：東日本・西日本



世界No.1のCRM

2021年上半期、世界のCRMアプリケーション売上の市場シェアで1位を獲得

国内外のグローバル企業から中小企業、国・自治体のお客様がご利用



営業

サービス

マーケティング

ポータル

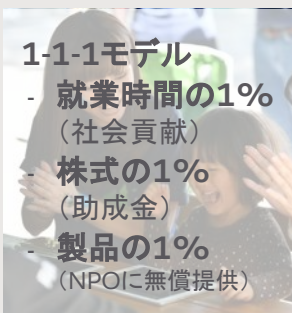
ネット販売

分析

開発基盤

データ連携

“ビジネスは社会を変えるため最良のプラットフォームである”



社会貢献のリーダー

社会貢献に取り組む企業 トップ100社に5年連続ランクイン

People誌、2021年

世界で最も持続可能な企業

Barron's

企業文化のリーダー

最も働きがいのあるベスト企業100

Fortune誌、2021年

世界で最も働きがいのある会社

Great Place to Work

イノベーションのリーダー

働きがいのあるテクノロジー企業に5年連続ランクイン

Fortune誌、2021年

世界で最も尊敬される企業

Fortune誌

Two large, stylized white clouds with soft, rounded edges are positioned in the upper half of the image against a light blue background. The cloud on the right is larger and more prominent than the one on the left.

Data Everywhere For Everyone



データ時代

“世界で最も貴重な資源は、もはや石油ではなく、データである。”

The Economist

2017-5-17



“Amazonは、80%をデータ、20%を経験や直感で意思決定”

Forbes

2019-5-29



“データは新しい石油ではない。データは水であり、酸素である”

サンディーブ・ビスワ氏,
スタンダードチャータード銀行
2022-5-12



企業はあらゆる領域で分析を実施

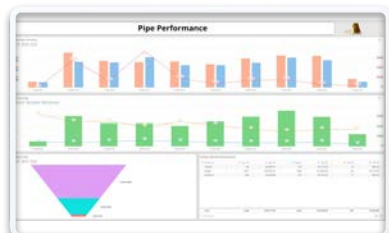


HR 分析



人員、採用、離職の傾向を簡単に可視化して明らかにし、優秀な人材の確保と維持につなげることができます。

マーケティング 分析



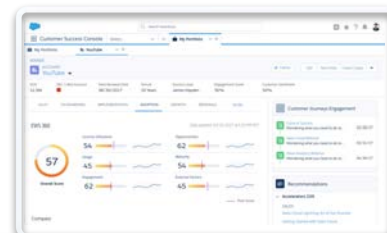
パイプラインからCSAT、イベントやコンテンツのパフォーマンスまで、マーケティングのKPIをすべて一箇所で確認することができます。

サステイナブル分 析



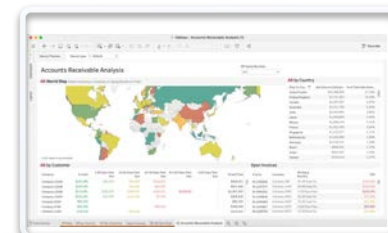
カーボンフットプリント、エネルギー使用量、廃棄物管理など、すべての環境データを一元的に把握することができます。

サービス 分析



顧客離れと満足度の傾向を明らかにし、平均解決時間などの主要なケース指標を得ることができます。

ファイナンス 分析



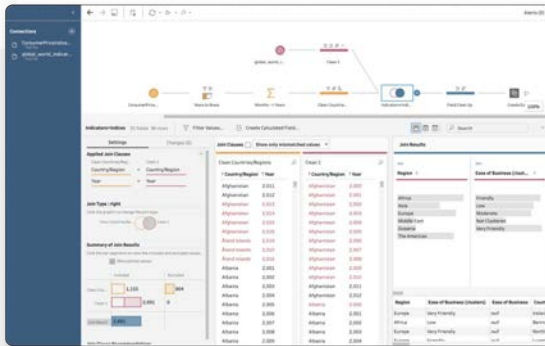
キャッシュフローを把握し、AR/APからT&Eまですべての財務を分析することで、収益を上げる要因を把握することができます。

...and more!

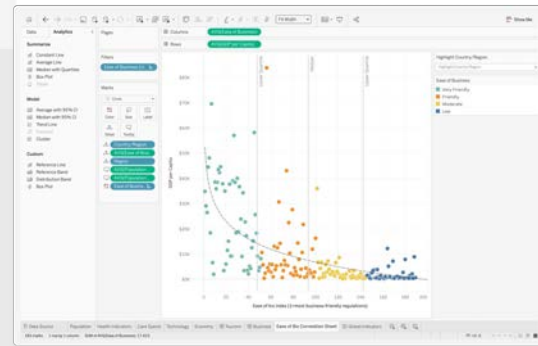
一気通貫したTableauデータ活用ソリューション



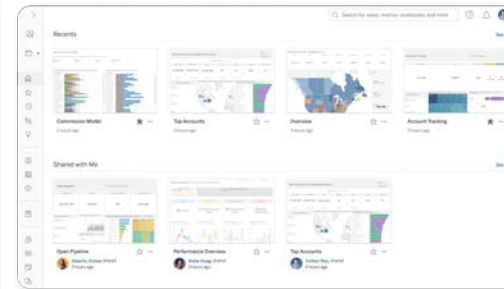
データ準備



ビジュアル アナリティクス



プラットフォーム



AI搭載



Tableau Blueprint データカルチャー醸成 & データピープル育成

WOLSELEY



SPECIALIZED



Sysco

ifood

GoDaddy



SONY MUSIC

NYC
HEALTH+
HOSPITALS



UNC
HEALTH

COMAIR



itv



亚马逊
amazon.cn



splunk



3M



AVAYA



Oldcastle



verizon



Lenovo



Seattle
Cancer Care
Alliance



Wealth
Management

Abercrombie
& Fitch



accenturedigital

SIGNET
JEWELERS

Southwest

allrecipes



World Food
Programme

zulily

SHISEIDO

Mondelēz
International

Honeywell

LinkedIn

experian

dentsu



A.S. Watson Group

Telefonica

Intermountain
Healthcare



CARDINALPATH

Trafilea

今こそデータの出番

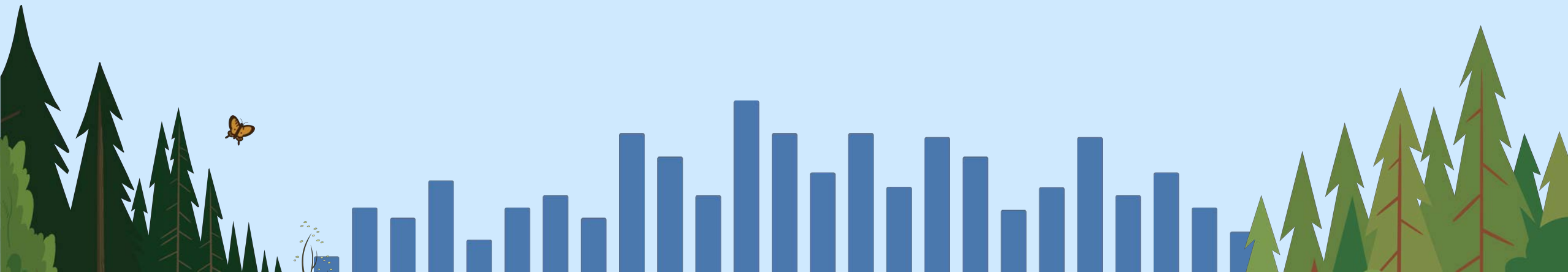
労働力不足

グローバルインフレ

パンデミック

サプライチェーンの混乱

エネルギー危機



“データギャップ”

企業

83%

83%のCEOが、自社にもっと多くのデータドリブン欲しています

データカオス

データスキル

データドリブン

データツール

データリテシー

従業員

たった

30%

自身をデータドリブン組織だと思っている

データドリブン意思決定 (DDDM)の重要性



競争優位性を維持するために全社レベルのFeeling からFactへ改善活動を実施

データドリブン意思決定 (DDDM)による経営判断

マクロな意思決定 (戦略的)	変化対応意思決定 (戦術的)	ミクロな意思決定 (運用)
潜在的なユーザー: CXO、役員 目的: 一眼でわかるまとまりのあるデータストーリー 洞察の例: 企業の目標に対して追跡されたパフォーマンスと比較のメトリックス 例: エグゼクティブサマリーダッシュボード	潜在的なユーザー: 与信管理、業務改革、ブランドマネージャー、加盟店ネットワーク 目的: 詳細な分析, Ad-HOC分析 洞察の例: 傾向の特定、戦略目標をサポートするプロセスの監視、ターゲットと予測の作成 例: Eコマースマーケティング最適化ダッシュボード	潜在的なユーザー: 加盟店営業、チーム、コールセンター、Webサイトマネージャー、マーケティングマネージャー、 目的: 高いレベルのリアルタイム監視と管理 洞察の例: 顧客満足度KPI, マーケティングキャンペーンのパフォーマンス、在庫状況 例: 店舗レベルの製品可用性ダッシュボード

様々な企業データ

データ分析(アナリティクス)の定義



INFORMS (The Institute for Operations Research and the Management Sciences)の定義によれば:

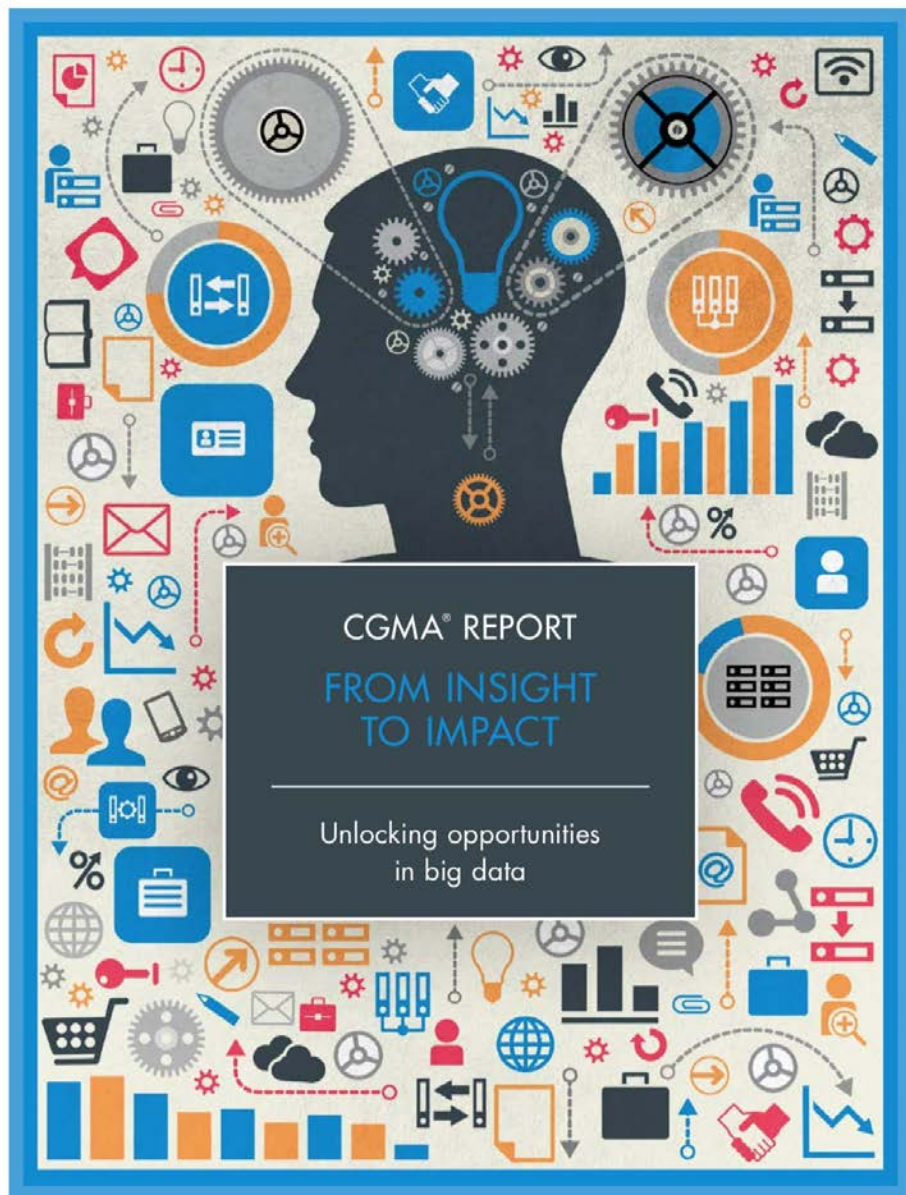
- 分析とは、より良い決定を下すために**データを洞察(インサイト)に変換する**科学的プロセス
- 分析は常に**行動主導(アクション・ドリブン)**のアプローチ
- 分析の実行を検討するときには、常に**意思決定が必要**
- データサイエンスバックグラウンドがあり多くの統計学者と働いてきたデータサイエンティストは**データを分析するためだけにデータを分析するのを好みます**
- **分析がビジネス行動を促進していることを確認することが重要**
- **最終的には、アナリティクスが組織のビジョンを強化するようになる**

データサイエンスの定義



- Tableauが考える

"データサイエンスは、主に統計・計算技術を構造的に適用することで、実世界のデータから新たな知見を学ぶことを目的とした学際的な分野(文理融合型-分野横断)である。"



ビジネス要求

The business

フォーキャスト
意思決定
業績改善
新規ビジネス

ビジネス ユーザー

Management accountant

ビジネスモデル
分析および確認

ビジネスインサイト

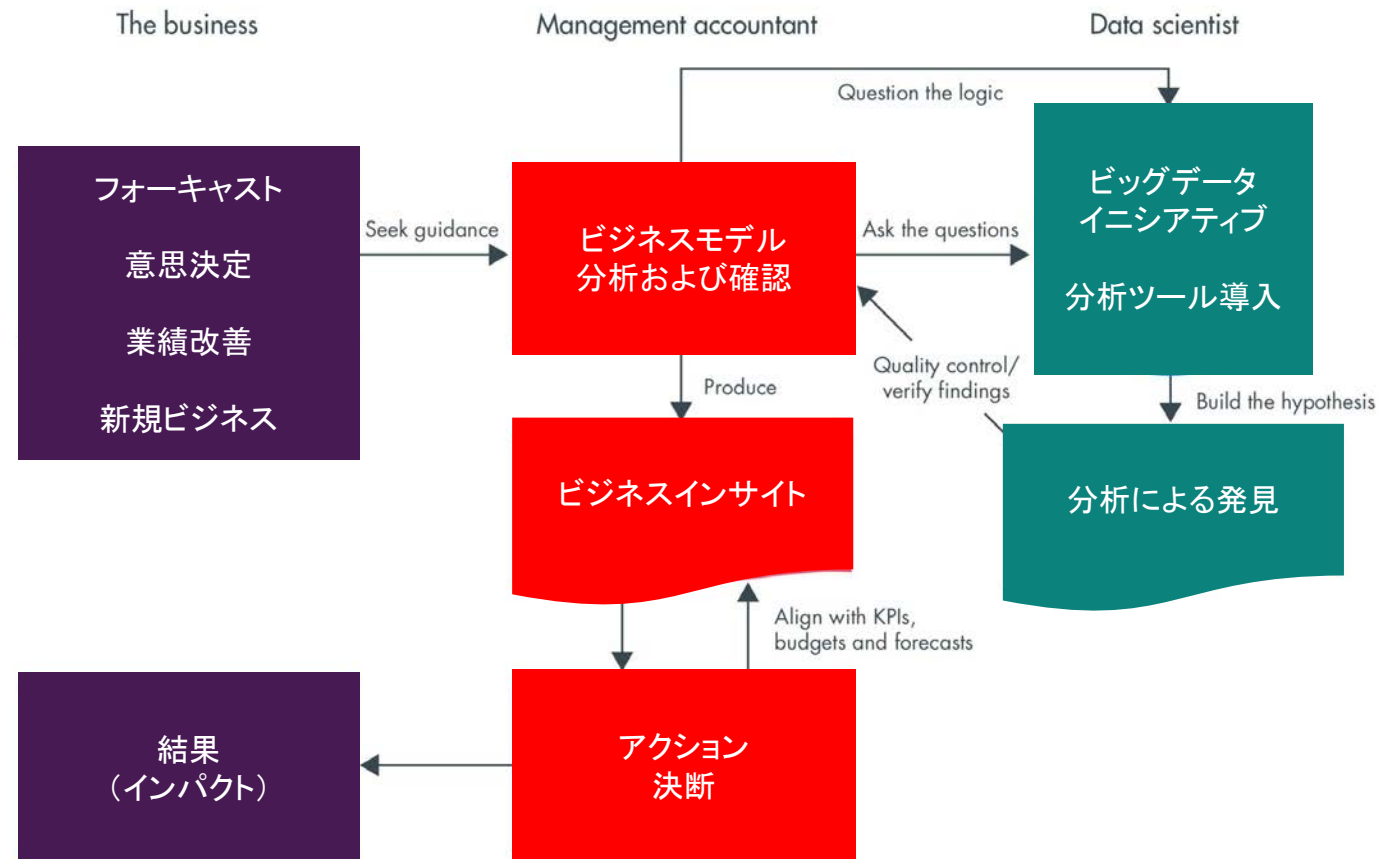
アクション
決断

データ サイエンティスト

Data scientist

ビッグデータ
イニシアティブ
分析ツール導入

分析による発見



必要とされる基礎的なスキル

データアナリスト

- SQL
- スプレッドシート
- パブリック・スピーキング
- データビジュアライゼーション
- 統計用プログラミング言語
- プレゼンテーション能力
- ビジュアル・アナリティクス
- 問題解決スキル
- 細部への配慮
- コラボレーション

データサイエンティスト

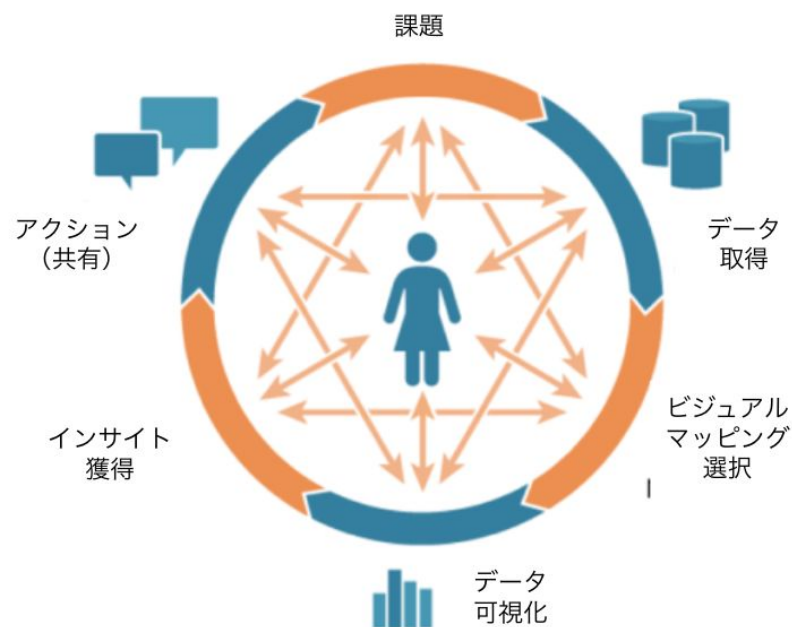
- Pythonの知識
- 問題解決スキル
- データエンジニアリング
- 統計知識
- データベース
- クラウドコンピューティング
- ビジュアル・アナリティクス

データサイエンスに必要な基礎スキル



ビジュアル・アナリティクス

ビジュアル分析は **データを探索し理解するための手段** であり、分析のプロセスそのものを支援し加速します。質問を投げかけ、答えを得て、さらに発展させた質問を投げかけるという一連の流れを、すべてビジュアルインターフェイスで行うことができます。ビジュアルサマリーを次々と開くたびに、**データに隠れたストーリーが紐解かれます**。後になってストーリーをたどり直し、再検討、さらに深い探索、そして共有を行うこともできます。つまりビジュアル分析では、**データを見て直接操作しながら、思考に従ってどの方向にも進めます**。



VAのプロセス

①質問から開始

- ・ 毎月何件のコールがあるか?
- ・ コール元はどこか?
- ・ 最も多いコールの種類は何か?
- ・ 受けているコール数が最も多い少ないのは誰か?

②データの取得

③ビジュアルマッピングの選択

- ・ 対比 (棒として表示)
- ・ 空間 (マップとして表示)
- ・ 時間 (線として表示)
- ・ 2つのメジャーの比較 (散布図として表示)
- ・ 細かい数値 (テキスト表として表示)

④データ可視化

⑤インサイトの獲得

- ・ どのような質問をするべきか?
- ・ 答えを得たとき、それは信用できるか?
- ・ データが役に立つかどうか、正しいかどうかを確認?
- ・ すべての事実を利用しているか?
- ・ 自分の先入観を確認しようと努めているか?

⑥アクション (共有)

データリテラシーの定義

データリテラシーとはデータを探索し、理解し、データで情報を伝える能力です。



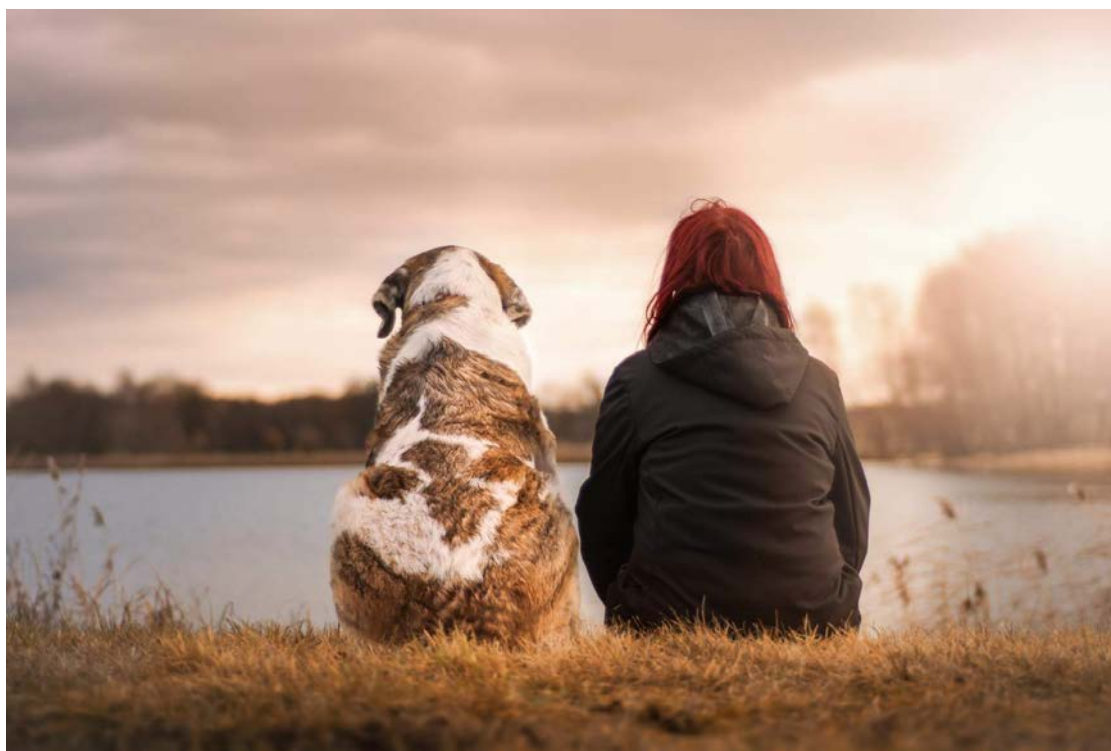
データリテラシーで重要なのは”探索”の側面



データ探索で成果を挙げるための鍵は、適切な質問を設定すること。

対象: 犬が好きで、かつ、自身の健康に気を遣っている人

問いかける質問の例



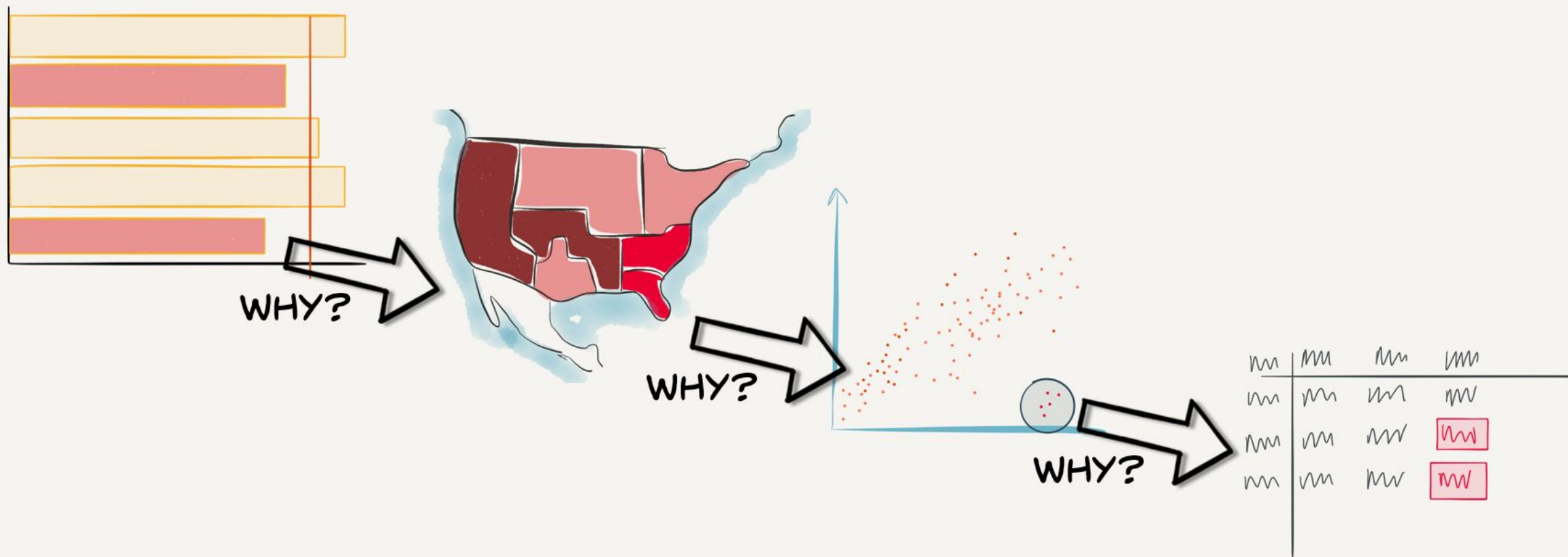
- ① 犬を飼うことは自身の健康にも良いのか?
- ② 米国で慢性疾患の患者とされる人々の健康状態について、犬を飼っている人と、そうでない人とではどのような違いがあるのか?

考察

- 1 番目の質問は大雑把であり、何を「良い」とするのか明確な基準がありません。
- 2 番目の質問はもっと具体的です。明確に定義された言葉を使い、特定の集団に対象を絞っています。

「なぜ」を問う

何かの質問の答えを探り始めると、いつの間にか、そこから発展した質問も問いかける



トヨタグループ創始者の豊田佐吉氏が生み出した“なぜなぜ分析”

この手法の主な目的は、不具合の根本的な原因を突き止め、それを修正することだが、あらゆる結果の原因を掘り下げるために利用できる

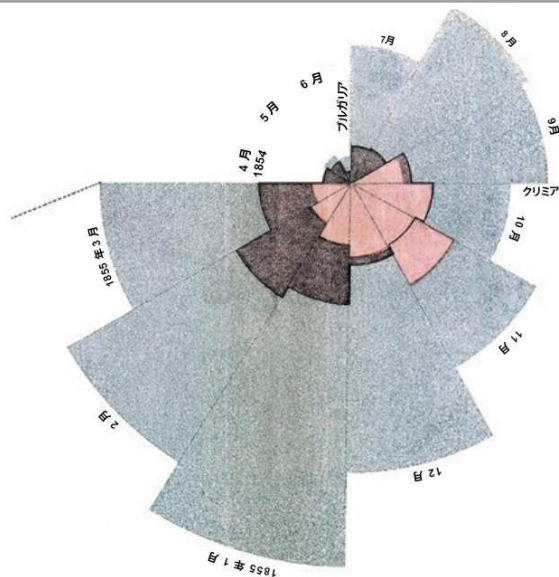
適切な質問がもたらす価値の事例



興味と好奇心とモチ、データ分析の実践スキルを生かして適切な質問をした

フローレンス・ナイチンゲール

“1854年、Florence Nightingale(フローレンス・ナイチンゲール)は看護師38名を率いて、クリミア戦争の負傷兵の看護に当たる



質問

これほど多くの兵士が亡くなっているのはなぜか、どうすれば防ぐことができるのか?

実施事項:

彼女は兵士たちの主な死因が戦傷ではなく、不衛生な医療環境による予防可能な病気であることを突き止めた。彼女は医療改革に着手し、死者数を劇的に減少させ、2年分の成果を文書化しました。

その後の社会変化:

ナイチンゲールは鶏頭図(右例参照)などのグラフィックを用いて、医療改革の普及の必要性を科学に精通していない人々に向けて訴えました。

本ストーリーと画像は、英国科学博物館の Web サイトにある Florence Nightingale のページを基にしたものです。Florence Nightingale の業績を紹介したページ (英語)に[Florence Nightingale の業績を紹介したページ](#)で全文をご覧ください。

データ活用で意識しなければならないこと(DIKW)



Data
(データ)

そのままでは
意味がない

Information
(情報)

知る

Knowledge
(知識)

学ぶ

Understand
(理解)

なぜ必要か？

Wisdom
(知恵/価値)

何が最善か？

過去・現在を理解する

未来を作る(改善/創出)

情報マネジメント

知識マネジメント

データリテラシーが強化するソフトスキル



興味・好奇心・想像力

興味:

ある事柄に対して、純粋に情熱を持っていますか？その情熱に心が動かされますか？

好奇心:

楽しんで物事を理解し、物事の仕組みを知りたいと感じ、情報を得たいと思いますか？

想像力:

目標を達成するまで何度でも、試すべき新しいことを思いつくことができますか？

自発性

自発性:

探求し、理解することに意欲的ですか？新しい疑問をためらうことなく追い求めることができますか？誰かの指示を待たずに、期待される範囲を超えた行動をすることができますか？

オープンマインドと柔軟性

自発性:

新たな発見を進んで受け入れますか？自分に誤りがあった場合は進んで認めることができますか？

価値あるものへの気づき、傾向の察知、健全な懐疑心

価値あるものへの気づき:

価値のある追求と、多くの時間を要するがほとんど結果をもたらさない追求の違いを見分けるために、質問に優先順位をつける方法を知っていますか？これはの一例です。

傾向の察知:

意味のある傾向を見出し、そうではないものを無視することができますか？

健全な懐疑心:

答えや結果に自信があるときでも、何か新しいことを学ぶために別の視点から見るすることができますか？

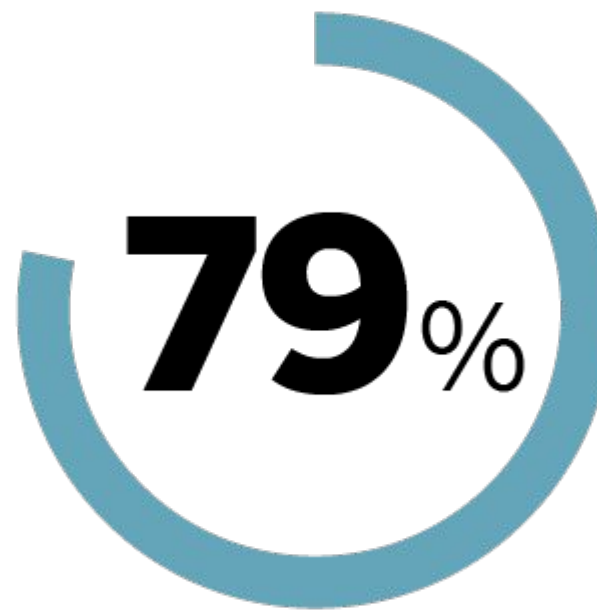
データリテラシーが組織に与える影響



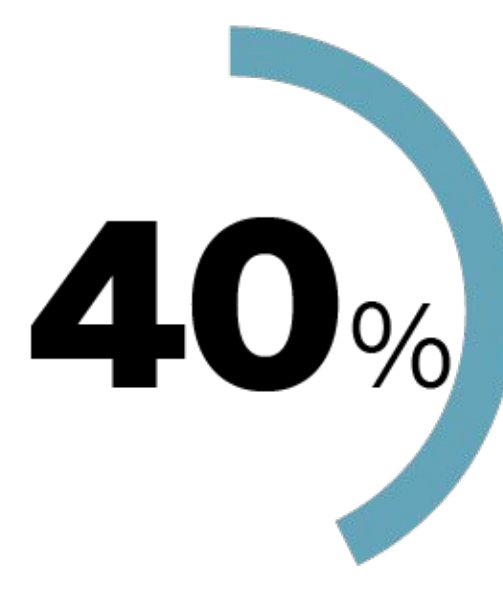
すべての従業員が基本的なデータリテラシーを持つことを期待するリーダーの割合



の従業員が2025年までにデータを多用することが予想され、2018年の40%から増加する。



のリーダーが、必要なデータスキルを従業員に提供していると回答しているが、わずか...



期待されるデータスキルが提供されていると回答した従業員の割合

データカルチャーの日本と米国の比較



<https://www.tableau.com/ja-jp/learn/whitepapers/idc-data-culture#form>

しかしデータで主導しているのは 5% のorganizations in Japanに留まります



リーダーとなるためのデータカルチャーの要素をご覧ください

マインドセット

共有

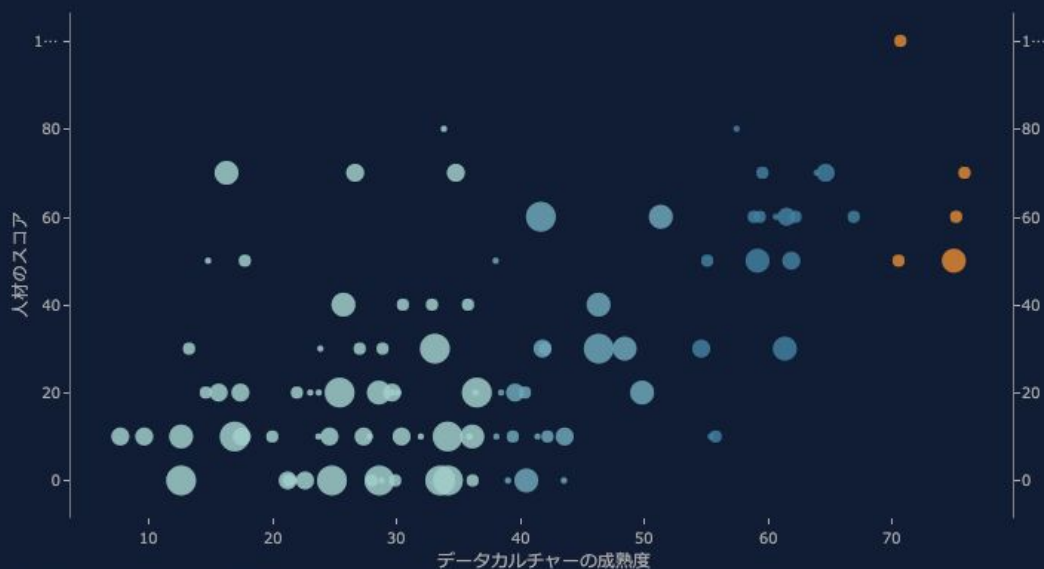
取り組み

信頼性

人材

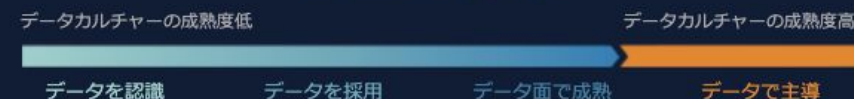
データドリブンな組織は

さまざまなデータ関連業務を行えることを人材に大きく期待しています



データ: IDC、ビジュアライゼーション: Tableau

しかしデータで主導しているのは 32% のorganizations in USAに留まります



リーダーとなるためのデータカルチャーの要素をご覧ください

マインドセット

共有

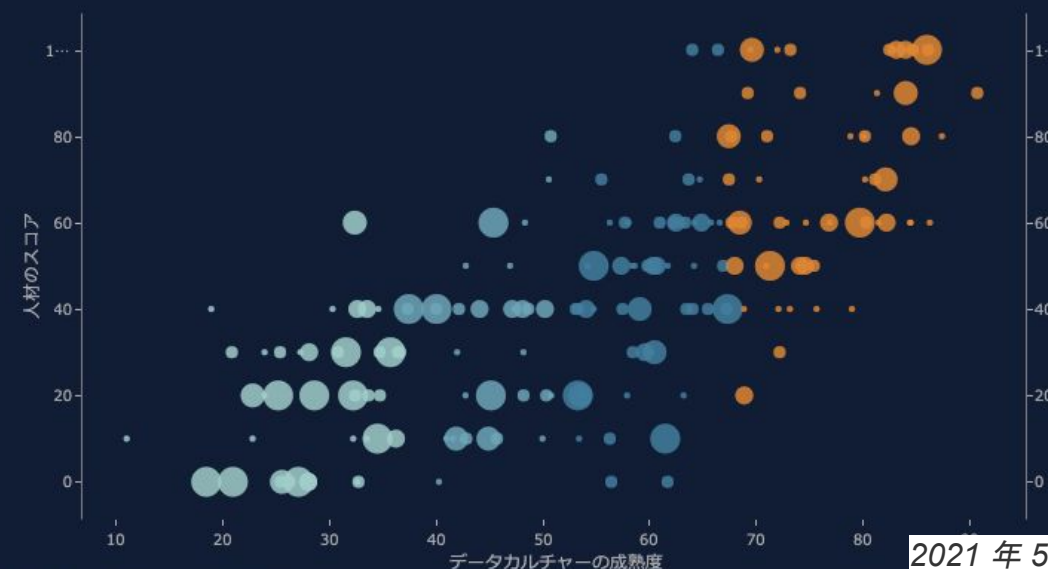
取り組み

信頼性

人材

データドリブンな組織は

さまざまなデータ関連業務を行えることを人材に大きく期待しています



データ: IDC、ビジュアライゼーション: Tableau

2021 年 5 月

企業が新卒に求めるスキル



最も需要の高いスキル

1	Data skills/data literacy
2	Communication and collaboration skills
3	Basic computer skills
4	Project management skills
5	Presentation/public speaking skills

過去2年間で最も需要が高まったスキル

1	Data skills/data literacy
2	Project management skills
3	Research skills
4	Computer programming skills
5	Communication and collaboration skills

今後5年間で最も重要性が増すとリクルーターが予想するスキル

1	Data skills/data literacy
2	Communication and collaboration skills
3	Research skills
4	Project management skills
5	Computer programming skills

基礎: 新入社員の採用や職務要件の作成に携わる米国の採用担当者／リクルーター 219名
出典 Forrester ConsultingがTableauに代わって実施した委託調査、2021年1月

アカデミックプログラム



プログラム概要



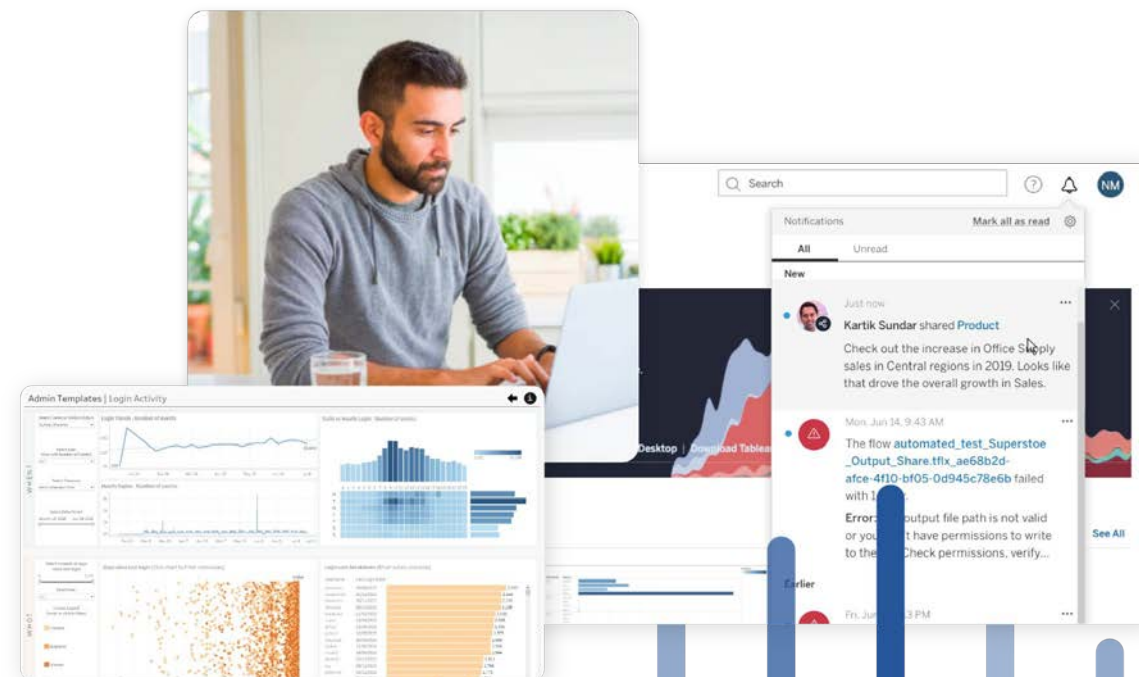
教育向け・学生向け 1年間無償ライセンス + 無償 eLearning が含まれます

2011年より、Tableauは世界中の教育機関へ製品ライセンスおよび学習リソースの無償提供を行い、260万人以上のあらゆる学部の学生と教員の方々のデータスキル取得を支援しています。

- **教育向けプログラム**(Tableau for **Teaching**)では、Tableau Prep, Tableau Desktop, Tableau Online
- **学生向けプログラム**(Tableau for **Student**)では、Tableau Prep, Tableau Desktop がご利用可能です。

Tableau 公式サイト

- 教育向けプログラム: <https://www.tableau.com/ja-jp/academic/teaching>
- 学生向けプログラム: <https://www.tableau.com/ja-jp/academic/students>



教育向けプログラム - Tableau for Teaching (TfT)



プログラム詳細

教員用 ライセンス

教員が利用する
個人ライセンス

- ・期間: 1年(更新可能)
- ・製品: Prep, Desktop
+すべてのeLearning コース
- ・2つのデバイスまで認証可能
- ・申請サイト: [こちら](#)

学生用 一括ライセンス

教員が学生に教える
際に学生が利用する
一括申請ライセンス

- ・期間: コース・授業期間
(コース・授業ごとの申請)
- ・製品: Prep, Desktop
- ・1つのキーで複数学生を認証
- ・申請サイト: [こちら](#)

※eLearningは学生向け (TfS)
プログラムにて別途 要申請

研究室用 一括ライセンス

学内コンピュータ
全体にインストールす
る際のライセンス

- ・期間: 1年(更新可能)
- ・製品: Prep, Desktop
- ・1つのキーで複数認証
(最大2,000台分)
- ・申請サイト: [こちら](#)

※共有デバイスのみ対象となり
個人デバイスは対象外

Tableau Online サイト

クラウド環境で
成果物を共有する
際のライセンス

- ・期間: 1年(更新可能)
- ・製品: Tableau Online
- ・100ライセンス
(教員が学生をメールアドレスに
て要登録)
- ・申請サイト: [こちら](#)

※1年に1サイトのみ使用可能
※任意のデバイスから作業可能

※研究者用ライセンス(非営利の学術研究のための個人用ライセンス)も教員用ライセンスと同様に[こちら](#)から申請ください。

アカデミックプログラム

Tableau 教育向けプログラム

あらゆる学科とレベルの学生にデータスキルの授業を無料で提供

教員用ライセンス

個人用ライセンスの申請

コース用ソフトウェアの申請

- ・学生用一括ライセンス
- ・研究室用一括ライセンス
- ・Tableau Onlineサイト

データリテラシーのある世界を築くのは Tableau のミッションです

2011 年以来、Tableau アカデミックプログラムにより、世界中の認定機関から 190 万人以上のあらゆる学部の学生と教員の方々が、重要なデータスキルを取得しました。Tableau 教育向けプログラム (TfT) は、教員が今日の世界経済に不可欠なデータスキルを教えるのに役立つ、無料のソフトウェア、学習リソース、カリキュラムを提供しています。**1 年間無料のライセンス**を申請して、今すぐ始めましょう。

既製のTableauカリキュラム

ラインナップと入手の手順



入手の手順

1. 教員向けライセンスの取得([本ページ](#)・“個人用ライセンスの申請”)
2. Tableau for Teaching User Group への参加([Forum Groupページ](#))
3. カリキュラムリクエスト フォームの送信



データリテラシーのある世界を築くのは
Tableau のミッションです

2011 年以来、Tableau アカデミックプログラムにより、世界中の認定機関から 190 万人以上のあらゆる

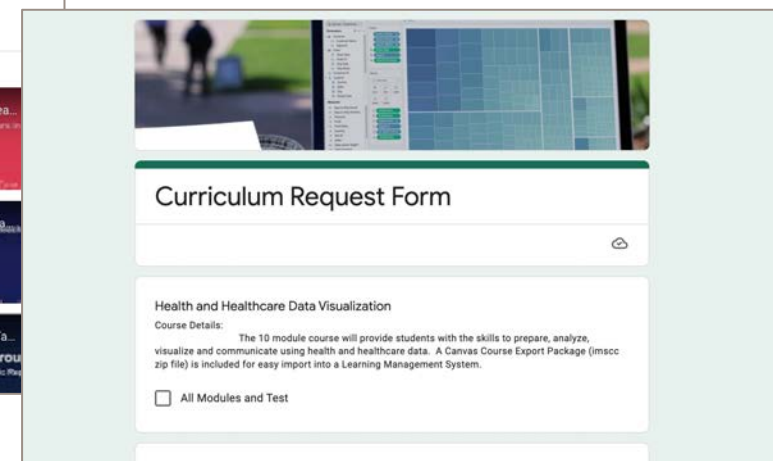
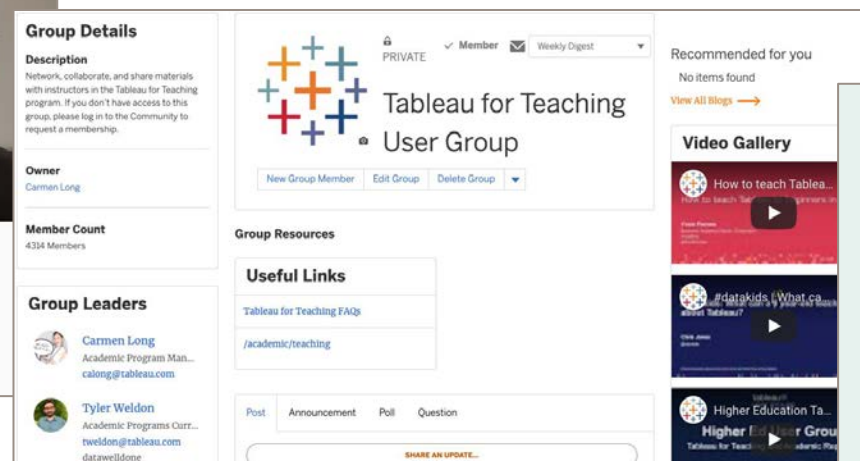


Tableau Community サイト

Tableau for Teaching User Group(教員向けのプライベートグループ)

[PRICING](#)[TRY NOW](#)[Why Tableau](#) [Products](#) [Solutions](#) [Resources](#) [Partners](#)[Home](#) [My Activity](#) [Forums](#) [Ideas](#) [Groups](#) [Resources](#) [Get Started](#) [Blogs](#)

Group Details

Description

Network, collaborate, and share materials with instructors in the Tableau for Teaching program. If you don't have access to this group, please log in to the Community to request a membership.

Owner

Carmen Long

Member Count

4314 Members

Group Leaders



Carmen Long

Academic Program Man...
calong@tableau.com



Tyler Weldon

Academic Programs Curr...
tweldon@tableau.com
datawelldone



PRIVATE

Member

Weekly Digest

Tableau for Teaching User Group

[New Group Member](#)[Edit Group](#)[Delete Group](#)

Group Resources

Useful Links

[Tableau for Teaching FAQs](#)[/academic/teaching](#)

Post

Announcement

Poll

Question

SHARE AN UPDATE...

Recommended for you

No items found

[View All Blogs](#)

Video Gallery



How to teach Tablea...

How to teach Tableau for beginners in 2 days

Free Form

Business Intelligence Strategy

Analytics

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau for Teaching

Tableau Community サイト

Instructor Resource Page (教員向けのリソースページ)



The screenshot shows the top navigation bar of the Tableau Community website. It includes the Tableau logo, a search bar, and links for PRICING, TRY NOW, and LOGIN. Below the navigation bar is a dark blue banner with the text "Instructor Resource Page". Underneath this is a light blue banner with the text "Data Literacy for All" and a sub-header "Learn foundational skills to jumpstart your data journey". The main banner text reads: "Learn data skills fundamentals with this free online training program. This self-paced course will teach you how to explore, understand, and communicate with data. Training covers key topics, including statistics, understanding data types, and communicating with data". A prominent orange button labeled "START LEARNING NOW" is centered at the bottom of the banner.

Check out these useful resources

Instructor FAQs Check out our one stop shop Instructor FAQs to find answers Learn More →	Need Software? Request an individual Tableau Desktop license or software for your courses. Request Software →	Collaborate with others Join the Tableau for Teaching User Group to share resources, access curricula and connect Get Involved! (Login Required) →
---	--	---

Free Learning Resources

- [Tableau Desktop Deployment Guide](#)
- [On-demand Training Videos](#)
- [Desktop Support](#)
- [Live Online Training](#)
- [Tutorial: Getting Started with Tableau Desktop](#)
- [Whitepapers](#)
- [Tableau Desktop Starter Kit](#)
- [Webinars](#)

Interactive Resume Gallery

Have your students learn Tableau while getting ready for their careers

Check out our [Interactive Resume Gallery](#)

The screenshot displays a professional resume for Jessica Nick, a Senior Analyst. The resume is organized into several sections: a header with her name and title, a "WORK EXPERIENCE" section listing roles at the Federal Reserve Bank of Chicago and Northern Trust Corporation, an "EDUCATION" section for Algonquin State University, a "TECHNICAL" section with a bar chart showing proficiency in Tableau Desktop, Tableau Server, SQL, Microsoft Excel, and Microsoft PowerPoint, and a "HOBBIES" section. The resume is presented in a clean, modern layout with a blue and white color scheme.

Tableau ユーザーグループ(TUG)

素晴らしいコミュニティの仲間とつながる



- ・学生ユーザー会

- ・大学ユーザー会

その他にも、さまざまなユーザーグループが
ユーザー会など 各種イベントを随時 開催中！

- ・TECH PLAY Tableau [特設サイト](#)

- ・学生ユーザーグループ [ページ](#)

- ・大学ユーザー会 [ページ](#)

- ・Japan Tableauユーザーグループ(JTUG)

- 公式 [ウェブサイト](#)

- [YouTube](#) チャンネル

- [Twitter](#) アカウント@jp_tug



Tableau Students

User Group



すべての人のためのデータリテラシー

無償のeLearning - 日本語版がリリースしました([サイトはこちら](#))



すべての人のための データリテラシー

基本的なデータスキルを自分のペースで学習できます。開発、分析、データを活用した意思決定の基本について理解できます。このコースのシリーズでは、データタイプの理解、基本的な統計概念、ビジュアライゼーションの解釈方法を含む、主要なトピックを取り上げています。データインサイトの探索、理解、組織内での伝達方法について学べば、より多くの情報に基づいて意思決定を行えるようになります。スキルレベルに関わらず、データの探索、理解、伝達に関する自分の能力に自信を持てるようになり、キャリア開発や知識の向上に役立ちます。

データリテラシー入門

データリテラシー入門

データリテラシースキルを構築することで、データジャーニーを開始できます。

適切に構造化されたデータ

適切に構造化されたデータ

分析のためにデータが準備できているかどうか分かりますか? このコースでは、データが適切に構造化されているかどうかを確認する方法を学びます。

変数とフィールドタイプ

変数とフィールドタイプ

データの値に関する理解を深めます。このコースでは、変数の分類方法や、変数のフィールドタイプについて学びます。

既製のTableauカリキュラム

ラインナップと入手の手順



ラインナップ

- Data Literacy One
- Data Literacy Two
- Health and Healthcare Data Visualization
- Intro to Data Journalism with Tableau
- Social Media Analytics with Tableau
- Tableau Desktop Training
- Data Visualization
- Tableau Online Guide

※現時点では全て英語のみの提供
(Data Literacy One 日本語化中)

[データリテラシー入門]
[プレゼンターの職名] | [プレゼンターの名前]
[日付] | [連絡先 (ソーシャルメディア、メールアドレスなど)]

質問とデータ分析課題、および相互評価
教員への注記: 学生には、まずクラス内でこの課題に取り組む時間を与えることをお勧めします (モジュール2のPowerPointスライドデッキを参照)

開始前にモジュール2の読書課題を読んでください。

パート1

- 1) 自分が情熱を注いでいるトピックまたは問題について考えます。そのトピックについて、どのような質問が最も重要だと思いますか? (たとえば、犬が好きで、自分の健康に気を遣っているとしましょう。その場合、「犬を飼うことは人の健康に良いか?」という質問を設定することができます)
- 2) 自分の質問に答えるデータ分析について説明している記事を、インターネットで探します。(たとえば、こちら <https://www.ahajournals.org/doi/10.1161/CIRCOUTCOMES.119.005554> は1の質問例に関連する記事です)
- 3) モジュール2の読書課題に記載されている概念を使用して、記事を批評します。1〜2 ページの文章 (日本語で 800〜1,600 字) で自分の批評をまとめます。

次の内容を含めてください。

- a. 質問と、その質問を取り上げた理由の概要
- b. 記事の概要と、その記事の質問との関連性
- c. 読書課題「Elements of Data Style」の第2章を参照して、分析を分類する (記述的、探索的、推計的、予測的、因果的、または機械的)。その分類の理由を説明する。
- d. 「Essays on Data Analysis」の第2章に記載されている概念を参照し、選択した記事にある分析のコンテキスト、リソース、オーディエンスについて考察する。
- e. 「Now You See It」の第2章に記載されているアナリストたちの特徴を読み、作者は「アナリストのように考えて」いるか、その理由は何かを考察する。
- f. 提出物に、読書課題の直接の参照点を少なくとも5つ書く。

パート2
教員への注記: 課題のこのレビュー部分は、オンラインのディスカッション掲示板に変えて、レビューおよび話し合いの対象とする批評を学生が選択できるようにすることができます。

学生によるVizコンペティション

EDHEC Business School主催 - unicef, mazars, Tableau 共催



PROGRAMMES

EXECUTIVE EDUCATION

STUDENT EXPERIENCE

FACULTY & RESEARCH

COMPANIES AND CAREERS

ABOUT

ALUMNI



HOME >

STUDENT
DATAVIZ
CHALLENGE

IN PARTNERSHIP WITH



STUDENT DATAVIZ CHALLENGE 2022

STUDENT DATAVIZ CHALLENGE 2022: MAKE A DIFFERENCE USING DATA

学生によるVizコンペティション



A close-up, low-key photograph of a hand holding a small globe of the Earth. The hand is positioned at the bottom right, with fingers gently gripping the globe. The globe shows the Americas, with North and South America visible in green and brown against the blue oceans and white clouds. The background is dark, making the hand and globe stand out. Overlaid on the center of the globe is the Japanese text 'データ = 共通言語' in white.

データ = 共通言語

Thank You

